

ここに
チュウモク
ここに

本州の皆さん滝上町で暮らしませんか？

北海道暮らしフェアにチュウモク

滝上町ではU・ターナーなど若者の定住化、担い手の確保の観点から町内企業と共働して、公民連携による3大都市圏でのプロモーションを展開し、人材の確保と育成に務めています。

今年も町内企業2社と一緒に全国最大級の北海道移住イベントである「北海道暮らしフェア」に10月は大阪・名古屋会場に参加。11月には東京会場に参加する予定となっています。

今月はこの北海道暮らしフェアについてチュウモクします。

■北海道暮らしフェアって？

北海道暮らしフェアは、NPO法人「住んでみたい北海道推進会議」が主催する全国最大の移住・就職相談会です。

北海道での生活・暮らしの情報から、仕事・住まいに関するまで、北海道のあらゆる情報を紹介。北海道での「ちょっと暮らし」や、移住・定住に関する様々な情報を北海道各地の市町村・企業・団体の担当者が直接、質問や相談に直接お答えします。



大阪会場の様子

■移住者向け住宅のニーズが大！

今回のフェアには町の職員のほか、町内の企業から江本木材産業株式会社と社会福祉法人滝上ハピニスの担当者が参加。滝上での働きがいのある職場環境と暮らしやすさを前面にPRを行ってきました。10月6日の大阪会場では延べ850人の方が会場に來場し、滝上町のブースにも29人が訪問。7日の名古屋会場では延べ750人。滝上町のブースにも22人が訪問しました。



名古屋会場の様子

ブースを訪れる方々の中には本州に比べ夏場涼しい北海道に短期間だけ移住する「季節間移住」に興味を持つ方や仕事をリタイアし、北海道でのんびり、ゆったり暮らしたいと考え、全道各地の「ちょっと暮らし」の情報を収集する方々がいる中で、若い世代の中には就職先があり、定住できる住宅が整っていれば本格的に移住したいと相談されるご夫婦もおり、田舎暮らしへの関心が高がえしました。仕事・買物・医療・子育て支援など様々な質問をいただきましたが、定住住宅など住環境について踏み込んだ話しをする方が多かったです。印象的でした。

■フェアに参加して、滝上ハピニス谷脇さんに聞く
これまで、独自で介護職や看護職といった福祉専門職募集フェアへの参加はしてきましたが、今回初めて町とチームを組み、担い手確保の取り組みを行いました。
やはりチームを組んで行うことにより町全体の説明、働く場のことを分担し、明確に訪れた人に発信できたことは大きいと思いました。北海道に対する熱き思いをたくさん聞かせていただき、逆にパワーを分けてもらった気がします。実際に住んでいて忘れかけていたものを再認識させられるフェアとなりました。



滝上ハピニス 谷脇孝弘氏